

学校だより



令和6年9月30日
尼崎市立園田小学校
校長 杉浦 文崇

— みんなのことを考えて・・・ —

HPへ⇒



9月26日(木)に昨年度までコロナウイルス感染症対策の関係で実施できていなかった、園小まつりを5年ぶりに実施しました。園小まつりは、『湧き上がれ! 思いであふれる 園小まつり』のスローガンのもと、2年生～6年生の各クラスが体験型ゲーム等のお店を出店し、きょうだい学級の友だちとお店を回って楽しむお祭りです。私もお店を回ってお祭りの様子を見ていたのですが、どのお店も来てくれたお客さんが楽しめるように、丁寧にルール説明をしたり、接客をしたりすることができていました。お客さんの子どもたちもお店の子どもたちの言うことをしっかりと聞き、ルールを守ってゲームを楽しむことができていました。また、ペアでお店を回っている時も上級生が、下級生の友だちと話をしながら上手にお店を回ることができていました。今回の園小まつり、子どもたちは友だちみんなのことを考えて行動することができていたように思います。このような行動ができるのは、園田小学校の子どもたちの良いところです。この良さをさらに伸ばして、園田小学校があたたかい良い学校になればうれしいです。



— ○○の秋!! —

10月を目前にしてようやく朝晩が少し涼しくなったり、虫の声が聞こえるようになってきたりと、秋を感じられるようになってきました。秋と言えば「食欲の秋」「読書の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」等、「○○の秋」と言いますが、今、園田小学校は、まさに「スポーツの秋」「芸術の秋」を迎え、子どもたちは体育大会、音楽会の練習に一生懸命取り組んでいます。

本番を4週間後に控えた体育大会の練習も、各学年、先週ぐらいから始まりだしました。私も校内を回る時に少し練習を見るのですが、まだ、振り付けや動きを知って、覚える段階なので、どんな演技が完成するか予想がつかない状況です。しかし、どの学年も演技の振り付けや動き、手具の使用等、各学年の子どもたちらしさが表れる演技になるように、先生方も工夫を凝らしているようですので保護者の皆様ご期待ください。子どもたちはこれから、演技を完成させるために練習を繰り返していくのですが、次の二つを意識してほしいと思います。一つ目は、演技を好きになることです。好きなことであれば練習も楽しめるようになります。二つ目は、みんなで心をつなぐことです。みんなで同じ思いで練習に取り組めば、しんどくても頑張りぬくことができます。この二つを意識して練習に取り組んで、どの学年もみんなの思いの詰まった演技を完成させてほしいと思います。これまでの子どもたちを見ていると、きっと素敵な演技を完成させることができると私は思います。完成した演技を見るのが楽しみです。

これから体育大会まで、保護者の皆様には体操服の洗濯や体調管理等、ご協力いただかなければいけないことがたくさんありますが、どうぞよろしくお願いたします。

10月行事予定

日	月	火	水	木	金	土
		1 朝会	2 1年校外学習 【キッズプラザ 大阪】	3 放課後学習	4 スクールカウ ン セラー来校	5
6	7	8	9 6年連合体育 大会	10 2年秋の遠足 放課後学習	11	12
13 市民 体育祭	14 スポー ツの 日	15 ありが たう 集会	16 就学時 検診 ※13:05 下校	17 月曜時 間割 (5校時 まで) 放課後 学習	18 2年秋 の遠足 予備日 スクー ルカウ ン セラー 来校	19
20	21 委員 会 キャ リア 教育 週間	22 音読 朝会 6年 連合 体育 大会 予備 日	23	24 放課 後学 習	25 体育 大会 【児 童鑑 賞日】	26 体育 大会 【保 護者 鑑賞 日】
27 体育 大会 予備 日	28 代休 日	29 体育 大会 予 備日 代休 日 ※弁 当日	30	31 放課 後学 習		

11月の主な行事予定

- ・ 1日(金) 諸費振替日
- ・ 5日(火)～ 8日(金) 読書週間
- ・ 11日(月)～15日(金) トライやるウィーク
- ・ 14日(木) 尼崎市音楽会【4年出演】
- ・ 29日(金) 音楽会【児童鑑賞日】 ・ 30日(土) 音楽会【保護者鑑賞日】

毎週月曜日は定時退勤日となっています。ご理解ご協力をお願い致します。

2011年に発行されたアメリカのレイン・スミス作『これは本』の紹介です。

パソコンしか知らないロバくんが本の使いかたをサルくんに聞きます。

『マウスはどこ?』『キャラクターをたたかわせることはできる?』『できない。これは本だから。』『メールできる?』『できない。』『ツイッターは?』『Wi-Fiは?』『いらな
い。これは本だから。』『パスワードはいる?』『いない。』『充電しとくからかして!』
「.....」 ——こんな時代はくるのかな?——

読書力向上担当 高須賀 幸郎